

# 新型コロナウイルス感染症流行が術後骨粗鬆症治療に与える影響の研究に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度東京医療センター整形外科では、「新型コロナウイルス感染症流行が椎体骨折、大腿骨頸部骨折術後の骨粗鬆症治療継続率に与える影響」の研究を行うことになりました。

この研究の目的は、椎体骨折、大腿骨頸部骨折術後の患者さんの骨粗鬆症治療継続率を調べて、新型コロナウイルス感染症の骨粗鬆症治療に与えた影響を明らかにすることです。

この研究のため、2018年4月1日より2020年3月末までに治療した方の診療録の調査を行います。対象となるのは椎体骨折、大腿骨頸部骨折の手術後に骨粗鬆症治療を受けた方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（骨粗鬆症の治療内容、骨粗鬆症治療継続の有無など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2021年9月

研究責任者

東京医療センター 整形外科

岡本 レナ

連絡先 03-3411-0111（代表）